

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18カ国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころとからだの飢餓」に応える活動をしています。



プレゼントにも最適 フェアトレードチョコ

世界定番のフェアトレードチョコレート10種類。かわいいパッケージと安心のおいしさ。

1つ390円(税込)、50gの板チョコです。バレンタインのプレゼントにぴったりです。4個までは送料180円、5個は送料込みで2,100円、6~10個は5個の価格に個数分の代金をプラス。

11個以上の送料は個数に応じて変わりますので、ご確認ください。(レターパックプラス、宅急便コンパクト、宅急便等を使用)

なお、コーヒー、ココア、紅茶等と組み合わせてご注文の場合は送料から300円割引。

お支払い：後払いで以下①②

①銀行振り込み ②郵便振替

お申し込み:

(株)キングダムビジネス
スマートフォンは右のQRコードから
電話注文：06-6755-4877



大阪マラソン2023

チャリティランナーさんの寄附集めにぜひご協力をお願いします!



2月26日に開催される「大阪マラソン2023」にハンガーゼロを応援するために10名のチャリティランナーさんが参加します。参加にあたりランナーさんは1月24日までに一人当たり最低7万円の寄附を用意する必要があります。フルマラソンにチャレンジして下さる皆さんへの応援をよろしくをお願いします。寄附は下記の専用サイトから行えます。
<https://osaka-marathon.syncable.biz>

クリスマス募金は1月末まで

コンゴ民主共和国の活動を支援する「2022年クリスマス募金」は1月末まで受付中です。募金は農業プロジェクトや孤児院での給食支援などに用います。募金目標は800万円です。募金はホームページや郵便振替でお願いいたします。

●冬季休暇のお知らせ

ハンガーゼロは、12月31日から1月3日まで冬季休暇をいただきます。新年は1月4日より通常体制の勤務といたします。

フィリピン短期チャイルドサポーター募集



Child Supporter
チャイルドサポーター

フィリピンのビコール地区スラ・マトノグは、2025年5月末に貧困からの「卒業」を迎えるためチャイルドの支援も終了します。事務局では、地区の卒業までの間、まだサポーターさんのいないチャイルドを応援する「短期チャイルドサポーター」さんを募集します!支援期間は、1~2年半です。

- チャイルドの対象年齢：5~17歳
- サポーターを待っているチャイルド：55名
- お申し込みはホームページ又は電話にて
事務局Tel:072-920-2226で受付しています。

サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

氏名	フリガナ
(TEL)	
住所	〒
申込日	年 月 日 NL390号

<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月()円 □(1000円) ②一時募金として 円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFH サポーター)として協力します。 毎月()円 □(500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落し申込書を送ってください。
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落し申込書を送ってください。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務局までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在... **5260**名

※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。

わたしから始める、世界が変わる

Hunger Zero News

2023. No.390
ハンガーゼロ・ニュース

Contents

2023 VOICE ハンガーゼロ清家理事長	P.2
白鞘慧海親善大使にインタビュー	P.3
私から始める特集(支援参加のご案内) 飢餓のない世界を実現しよう!	P.4-5
大学生ボランティアのダブルスマイルサント カンボジア支援地訪問の報告	P.6-7



カンボジア小学校の子どもたちと紙飛行機で交流



1分間に17人(内12人が子ども)
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>
eメールアドレス general@jifh.org
フェイスブック facebook でハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



「つながる募金」(旧がざして募金)に変わりました。ソフトバンクスマホの方は、Tポイントで募金ができます。

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1
TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155
東京(広島) 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室
TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782
東京(東北) 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6F
TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132
愛知 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾン久米202号
TEL (098)943-9215 FAX (098)943-9216
沖縄
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL (510)568-4939 FAX (510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター

●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに1,555,848ポイント(円)のご協力(24,074件)がありました。Tポイント募金で検索。
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

平和は

平和を作り出す人たちによってもたらされる

「キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのために、あなたがたも召されて一つのからだとなったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい」コロサ13章15節(聖書)

先月号で紹介した王楠穎^{おうなんえい}さんは、ロシアがウクライナに侵攻した2022年2月24日、ウクライナ北東のハリキウ(ウクライナでは首都キーウに続いて2番目に大きな町)で攻撃を受けました。彼は三日間避難していた地下で爆撃が収まるようにと祈っていました。その間、食事はおろか水を飲むこともできなかったそうです。この三日間はひたすら神様に「この攻撃を止めてください。私はあなたのために働きます」とお祈りをしたと言います。その後、台湾政府が用意したバスに乗ってポーランドに避難することができました。

スタッフのジェローム・カセバが11月にアフリカのシエラレオネを訪問したときにひとりの人に出会いました。彼は手縫いの布製のバッグを通りを行き交う人々に売っていましたが、よく見ると彼の両手首はありませんでした。ジェロームは彼に話しかけ、生い立ちを聞いたのです。彼の名前はエイブラハム。彼がまだ小学生の頃、お父さんが働く町まで遊びに行きました。そこで政府に対する反乱軍の攻撃を受け、お父さんは殺され、エイブラハムは将来自分たちに復讐しないようにと両手首を切断されたのです。



エイブラハムの心と体に残っている傷は、私たちの想像をはるかに超えるものであると思います。でも彼は、人生に絶望しないで縫製の技術を身につ

け、結婚をし、子どもを育てているのです。自分の身体に残っている傷を見るたびに、復讐ではなく平和を作り出すことを考えているそうです。

王さんは4月から6月までウクライナの義勇軍に入り、兵士を運ぶバスの運転手をしていました。しかし除隊をしたその日に、派遣されていた月井サムエルさんからハンガーゼロのために働きませんかとの誘いももらいました。それから王さんはウクライナに物資を



左から近藤総主事、王さん、月井さん(ポーランドの避難所で)

届け、病院を訪問し、難民を日本に送り出しています。ビザ取得のためにしばらく日本にいましたが、クリスマス前にはウクライナに戻りたいと日本を発っていきました。クリスマスを今も攻撃を受け、厳しい寒さと闘っているウクライナの人たちと過ごしたいと思っています。

平和は自然に発生するものではなく、平和を作り出す人たちによってもたらされるものであることを深く考えさせられています。

今年もよろしくお願ひ致します。みなさまにとって素晴らしい一年となりますように。

ハンガーゼロ理事長 清家弘久

2022年にハンガーゼロの親善大使に就任されたゴスペル歌手の白鞘慧海^{しらさや えみ}さんに、支援参加のきっかけや世界食料デーテーマ曲作成についてお話を伺いました。

♪ぼくらはこの世界に 愛し合うために生まれて来たんだ♪

Q ハンガーゼロへの支援参加は

2017年に東京での世界食料デーにGOSPELコンサートで協力したのが最初です。ハンガーゼロのスタッフから「東京でいま食料デー大会がないのでぜひ!」と声をかけられ、学生時代に国際協力に興味があった自分を思い出し「ぜひ、やらせて下さい」とお返事をしました。2015年に社会支援団体 Everlasting LOVE Project (えばらぶ) を立ち上げ、病院や施設の慰問などの活動を始めており、世界食料デーも毎年開催するようになりました。過去5回は東京開催でしたが、今年は、夫(谷口卓嗣牧師)と共に牧会させて頂いている、大阪堺市の上野芝キリスト教会を会場にハイブリット方式(対面とオンライン)で開催致しました。

Q GOSPEL形式での開催の良いところは

GOSPELって通常のコンサートに比べて出演参加される人数が多いので、たくさんの方が集まりやすいんですね。私のゴスペルクラスの生徒さんや音大の学生なども、みんな喜んで出演参加してくれています。GOSPELは、普段キリスト教会とは無縁な方でも関心を持ちやすいようで、いろいろな方が足を運んでくださいます。歌を通して神様の愛を伝えていきたい私にとっては何より嬉しいことです。それからGOSPELで愛を歌う人たちが「心」が柔らかい、優しい心を持った方が多いので、「貧困や様々な困難の中にいる世界の人たちのために自分も何かしたい」と積極的に協力してくださるんです。

Q 世界食料デーのテーマ曲に込められた思いは

「ぼくらの世界」は、スタッフの田村先生(牧師)から「親善大使として最初の仕事です!」と言われた時、実は既に食料デーのためにと思ってサビだけ作っていた曲があったので、早速それをベースに曲全体を組み立てました。『ぼくらはこの世界に愛し合うために生まれてきたんだ、国も言葉も超えて』『ぼくらの描く世界は、あたたかい愛に満ち溢れてる



んだ繋ごう心と心…』に愛し合うことや心が繋がることの大切さを描きました。



また1番の最初『遙かな空の上から見下ろせば、ぼくらは一つの星の上』は、神様の目から地球の人々を見た情景、そこで一人一人が差し伸べる手は小さく見えるかもし



れないけど『そこから未来が変わる』という希望があって、本当の愛(神様の愛)に出会い、いのちの泉で満たされた人々がその愛をもって誰かを思いやるならこの世界は変えられる。今回の世界食料デーのテーマ「Small Action Everyday!」(小さなことから一歩ずつ)の願いに、この想いを重ね合わせて曲を書き上げました。

Q 親善大使となって取り組みたいことは

やはりハンガーゼロの活動地に実際足を運んで、人々と触れ合ってもっと知るとのこと。そして音楽を通して1人でも多くの方の力になればと思います。もちろん世界食料デーにも取り組みます。また2023年は新しいCDも出したいので、完成後のコンサートツアーの機会でも何らかの形で協力させて頂き、お役に立てればと思っています。

白鞘慧海(しらさや えみ) …ゴスペルシンガー&ソングライター、上野芝キリスト教会協力牧師、昭和音楽大学講師。 Everlasting LOVE Project (えばらぶ) 代表。 早稲田大学在学中より、シンガー&ソングライターとして活動を始め、1995年 ビクターエンタテインメントよりメジャーデビュー。NHK『みんなのうた』やCM、TVなどで楽曲オンエア。2002年 東京でクリスチャンとなる。所属教会にて、副牧師として仕えた後、2014年、ゴスペルシンガーとして音楽活動を開始。音楽を通して、神様の愛と希望、癒やしや励ましを人々に伝えていくことをビジョンとし、各地でコンサート活動を始める。2016年から、昭和音楽大学で教鞭を執り、次世代の音楽教育にも携わる。2017年 CD『BLOSSOM』発売。2018年、夫の谷口卓嗣牧師と「Emi & Takuji Music Ministry」スタート。現在、チャペルコンサート、ゴスペルコンサート、病院や少年院、福祉施設訪問などを行い、各地に賛美を届けている。毎年、世界食料デーに合わせて「World Food Day+Gospel」を開催している。www.emishira.com

スマートフォンでQRコードをかざせば白鞘さんの曲がお聞きになれます

ハンガーゼロ
Hunger Zero

わたしが始める



飢餓のない世界を実現しよう！

子どもたちの希望になろう

Child Supporter
チャイルドサポーター

東京 (03) 3518-0781

愛知 (052) 265-7101

「わたしから始める、世界が変わる」特集

大阪〈本部〉(072) 920-2225

沖縄 (098) 943-9215

生活の中から “始める”

● フェアトレードの商品を購入する

開発途上国の生産者から適正な価格で買い取られた商品などを扱う協力企業(株式会社キングダムビジネス)から買って支援する。イベントなどで出店する機会も少しずつ増えてきています、チャリティ企画の際はぜひご活用ください。通信販売もあります。商品の購入がハンガーゼロへの支援にもなります。



一番人気のフェアトレードチョコレートは3月末までの限定です。P.8に商品案内が掲載されています。贈り物などにいかがですか。

【購入者の声】

- 地球家族カレンダーの表紙写真の笑顔が素敵なので購入しました。各月の写真も素晴らしいですね。
- フレーバーティーは、一度買って飲んでみたらとても美味しかったので発売されたら必ず購入しています。
- 刺繍の手工芸品の細かな手作業に感動します。
- アンティークビーズアクセサリーは、とても良いパーツを使っている美しい商品ですね。この品質ならデパートでも並べられるくらいだと思います。
- フェアトレードチョコレートは、季節限定なのですがとても美味しいので毎年楽しみにしています。



● 書き損じ年賀はがきで応援する(古くてもOK)

未投函のはがきや未使用切手を支援活動に用いさせていただきます。かもめーるのはがきや収集されていた記念切手類なども大歓迎です。国内外の通信費軽減になります。

【2022年実績】

はがき：172,942円分の切手に換金。

未使用切手：201,563円分。

(注) はがきは日本郵便のものに限定



● ハンガーゼロ自動販売機を利用・設置する

飲み物を買うと1本につき10円がハンガーゼロの支援活動に用いられます。また防災対応のハンガーゼロ自販機を設置していただくと、緊急災害時の備蓄用としてパンの缶詰、水、各96個が無償で提供されます。現在、全国で112台が稼働中です。さらに設置して下さる方を求めています。問い合わせは大阪・東京事務所まで。



【2021-2022年度募金実績】

設置 112台 3,240,000円

設置のご相談は大阪事務所までご連絡ください。設置費用は必要ありません。飲料の補充や空き容器の回収も業者が行います。

● ネットを活用して支援の輪を広げる

皆さんのホームページやSNSでシェアや、いいね、リツイートで支援の輪を広げてください。ハンガーゼロ YouTube チャンネルでは楽しい動画や現地情報などをアップしています。ぜひチャンネル登録をお願いします。



● 『本 de リンク』で支援する

ハンガーゼロの各事務所では送られた本やCD・ゲームソフトを換金して、支援活動に使わせて頂いています。

※送料をご負担ください。以下のものはご遠慮ください。

本：破れ、汚れ、書き込み、個人出版、文学全集など

CD類：ケース割れ、ジャケットや歌詞カードの不備、

海賊版、カセット、レコード、VHSビデオなど。

皆様から回収された救岳鳥は各地に飛んでいきました！



食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。

備蓄をしながら社会貢献



世界にパンを届けよう

救岳鳥
Kyu-Can-Cho

おいしさとお届けします。

株式会社パン・アキモト

パンの缶詰
since 1995

〒329-3147

栃木県那須塩原市東小屋295-4

TEL 0287-65-3351

パン・アキモト 検索

参加や計画して “始める”

● 世界食料デーを開始し啓発・募金に協力する

2022年の世界食料デー大会は、全国11地区18会場で開催になりました。支援団体のキリスト教会では世界食料デーを覚えて特別な日曜礼拝を行って支援をしてくださっています。大会やオンラインで食料デー動画を利用していただく機会も増えていきますので、今年も動画のラインナップを充実していきます。ぜひ世界食料デーを通じて「わたしから始める」の輪を広げて行きましょう。事務局(東京事務所)までお問合せください。



● 各種学校での「出前授業」にスタッフ派遣

ハンガーゼロでは、未来を担っていく世代に貧困、飢餓、戦争など、世界の現状を知ってもらい、関心をもって「わたしにできること」を見つけて欲しいと願って、スタッフが出前授業を行っています。授業は幼稚園から大学まで年間70校前後で実施しています。



目的、人数、対象年齢など、ご要望に合わせてお受けしています。授業(講演)内容についてもご相談ください。オンラインでも実施しておりますので遠慮なく各事務所までご連絡ください。

● ハンガーゼロ親善大使を招きチャリティを企画

ハンガーゼロにはクラシック、ゴスペル、ロックなどの音楽分野で活躍されている親善大使がおられ、世界食料デーやチャリティコンサートで協力をいただいています。一昨年から親善大使に落語家も加わり、新たな企画で取り組んでくださる支援者さんもおられます。親善大使についてのご相談は、東京事務所までお問い合わせください。



募金を “始める”

- 「ハンガーゼロサポーター」になる。(一口1000円/月)
 - 「チャイルドサポーター」になる。(子ども一人4000円/月)
 - 「JIFHサポーター」になる。(一口500円/月)
 - 「海外スタッフサポーター」になる。(一口1000円/月)
- 他 「Tポイント募金」Tポイントカードの保有ポイントで募金する。
「つながる募金」スマホやPCから支援する。
「ストライプ募金」動画配信時などで随時募金する。

遺贈寄付についてのお問合せ、ご相談はこちらへ
お気軽に電話かメールでご連絡ください。
電話：03-3518-0781(東京事務所・近藤)
メール：tokyo@jifh.org



Okuda DESIGN PROJECT
貸したい時も、借りたい時も。不動産賃貸のご相談は—
インターネットでお部屋探し。
www.okuda-re.co.jp
代表取締役社長 奥田 英男
〒197-0003 東京都福生市熊川 447-9
042(552)0102(代)

※「協賛広告」を募集しています。ウェブにも掲載。詳しくは東京事務所・近藤まで



大学生ボランティアの ダブルスマイルサンタが 支援地を訪問

「日本の子どもと海外の子どもをダブルでスマイルに」という取り組みを通して、毎年、ハンガーゼロの活動地の1つであるカンボジアの子どもたちを支援してくださっている大学生ボランティアグループ「ダブルスマイルサンタ」のメンバー6人が、2022年8月13日～20日の日程で、支援地域「バン・ミア」へのスタディツアーに参加されました。その活動報告と感想が届きましたので、紹介させていただきます。(報告者・ダブルスマイルサンタ学生代表 竹森大洋さん)



貯蓄グループは信頼関係構築の証

コミュニティ訪問1日目、チャン・ヒア村の貯蓄グループを訪問させていただきました。グループの代表の方からグループに参加した理由や、ハンガーゼロの現地パートナーであるFHカンボジアが村にきて変わったこと、今後望むことについてお聞きしました。日本の銀行のような役割を村のコミュニティーの中で行っていることに驚きました。自分のお金を預けるという事はお互いに信頼関係が築けていないと難しいことだと思います。しかし、このような活動が何年も続いているのは、FHカンボジアの根強い支援はもちろ



貯蓄グループの説明を記録する参加者⑥

ろん、村の方々の強い意志があるからだ実感しました。子どもたちに教育を受けさせられるようにするため、自分たちの生活水準を高めるため、といった責

任と決意がグループの方のお話から伝わってきて、FHカンボジアの支援が終了した後も持続が可能な取り組みだと感じました。

取り組みを浸透させるカスケードシステム

コミュニティ訪問2日目、サッカダ村の保健衛生グループを訪問させていただきました。こちらには2007年に一度外部団体が入ってきたものの活動が続かず、2014年からFHカンボジアが、村の活性化のための総合的な活動を行っている地域でした。ポリタンクで作れる簡易手洗い設備(Tippy tap)の使い方や村の変化についてお聞きすることができました。ここで特に印象に残ったことはカスケードシステムについてです。村の中には、ご近所同士が集まったボランティアグループがいくつもできています。



各グループの中からボランティアリーダーが選ばれて、FHカンボジアから保健衛生についてのトレーニングを受けます。各ボランティアリーダーは、学んだことを自分が所属するボランティアグループに教えます。そして、各ボランティアは、そこで学んだことを自分の家庭で実践しつつご近所に啓発するというカスケードシステムが整っていることに驚きました。このシステムがあるから保健衛生の取り組みを広く浸透させていけるのだと感じましたし、村全体が同じ目標に向かって進むことができるのだと思いました。保健衛生は活動の成果が目に見えやすいものだと思います。以前は汚れた水が気にならず関心もなかった住民が、手をきれいな水で洗ったり、トイレを利用したりするのが習慣化されることで、病気にかかりにくかったり、生活環境が良くなったりと目に見える成果に直接つながります。それが地域の人の大きなモチベーションにつながっているのではないかと感じました。お話を伺った後、グループに所属しているご家庭を訪問させていただきました。自分のイメージをはるかに上回るほど生活環境がきれいに保たれており、特にトイレやお風呂などの水回りやゴミが一つもない環境に驚きました。現地の住居を見ることができてとても貴重な経験をさせていただきました。



な水で洗ったり、トイレを利用したりするのが習慣化されることで、病気にかかりにくかったり、生活環境が良くなったりと目に見える成果に直接つながります。それが地域の人の大きなモチベーションにつながっているのではないかと感じました。お話を伺った後、グループに所属しているご家庭を訪問させていただきました。自分のイメージをはるかに上回るほど生活環境がきれいに保たれており、特にトイレやお風呂などの水回りやゴミが一つもない環境に驚きました。現地の住居を見ることができてとても貴重な経験をさせていただきました。

念願の子どもクラブ訪問で感じたこと

そして今回の大きな目的が小学校、子どもクラブの訪問でした。私たちは事前に「日本のことを知ってもらえる達成感のあるもの」をテーマに、日本の緑日をモチーフにした新聞紙でできるワークショップを考えました。考えていく中で規模感や現地の子どもたちの理解度、説明の仕方に苦戦し、メンバーで試行錯誤しながら準備を進めました。また、言語の壁も大きなもので、FHカンボジアの方やハンガーゼロのスタッフの方にたくさん助けられました。自分たちで進められるか不安でしたが、快く私たちを迎え入れてくださり、何より現地の子どもたちが楽しそうに取り組ん



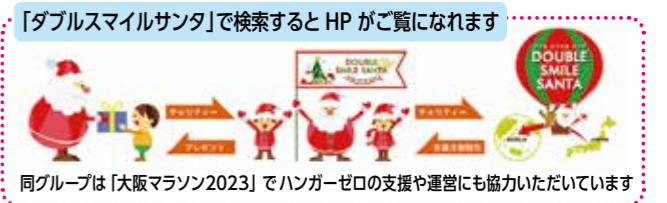
子どもクラブで楽しい交流ができました



ゲームを楽しむ子



小学校の先生たちと参加者



でくれてとても嬉しかったです。正直、自分の中で日本の子どもたちと比べるとどこか違う部分があるのではないかと感じていました。しかし子どもたちのキラキラした目を見て、生活水準や環境、文化が異なっても同じ子どもで何も変わらないのだと実感しました。小学校訪問では私たちが12月24日に集めたチャリティー募金が使われて設立された図書館(写真⑤)も見せていただきました。実際に絵本を読んでいる姿や絵本によって学びに良い影響があるというお話を聞くことができ、胸がいっぱいになりました。

3年ぶりの支援地訪問で得られたこと

この約1週間のスタディツアーを通して多くのことを学び、経験し、考えることができました。3年ぶりのスタディツアーという事もあり、これまで紙でしか支援状況が見られず、本当に自分たちの支援方法は現地の人にとってプラスなのかと不安に思うこともありました。しかし、実際に支援先を訪れて自分の目で見たら、現地の方のお話を聞いた中で、自分たちの行っている活動が誰かのためになっていると身に染みて感じることもできましたし、自分の活動に自信が持てるきっかけになりました。不安と緊張を抱いて臨んだこのツアーでしたが、それ以上に多くのものを持って帰ることができた気がしています。



ロングライフタウン 寝屋川公園 フィレンツェの丘

私たちロングライフグループは、
ハンガーゼロの活動を応援しています。

ロングライフは1986年の創業よりケアサービスひと筋。全国に展開しています。

Health & Natural Beauty
0120-550-294 受付時間 9:00~18:00 年中無休
 大阪本社 / 〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 東京本社 / 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階
 ロングライフグループ拠点: 北海道 / 埼玉 / 東京 / 神奈川 / 千葉 / 静岡 / 愛知 / 大阪 / 兵庫 / 京都 / 大分 / 沖縄 / 中国(青島) / 韓国 / インドネシア(ジャカルタ)